

令和2年2月28日

南薩保健医療圏地域医療構想調整会議議長 様

南さつま市立坊津病院 院長 坂本正州



具体的対応方針の再検討結果について（報告）

標記について、以下のとおり報告します。

- ① 現在の地域における急性期機能や、将来の人口推移とそれに伴う医療需要の変化等の医療機関を取り巻く環境を踏まえた、2025年を見据えた自医療機関の役割
 - ・ 2025年の医療機関の役割

担う役割の方針												
役割	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急医療	災害医療	離島・へき地医療	周産期医療	小児・小児救急医療	在宅医療	その他
現行のプラン	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	
変更後	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	

（変更する場合は、その理由）

- ・ 診療科の見直しについて
検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

分析時点 (H29.7)	→	現在(R1.7.1)	→	2025年 (現行のプラン)	→	2025年 (変更後)
内科、整形外科		新設				
		廃止				
		変更・統合				

- ② 分析の対象とした領域ごとの医療機能の方向性（他の医療機関との機能統合や連携，機能縮小，機能廃止等）

分析した領域	分析時点 (H29)	現在(R1.7.1)	2025年	その他を選択した場合の理由
がん	×	変更なし	変更なし	
心筋梗塞等の心血管疾患	×	変更なし	変更なし	
脳卒中	×	変更なし	変更なし	
救急医療	○	変更なし	変更なし	
小児医療	×	変更なし	変更なし	
周産期医療	×	変更なし	変更なし	
災害医療	×	変更なし	変更なし	
へき地医療	×	変更なし	変更なし	
研修派遣機能	×	変更なし	変更なし	

- ③ ①②を踏まえた機能別の病床数の変動

分析時点 (H29.7.1)	→	現在(R1.7.1)	→	2025年 (現行のプラン)	→	2025年 (変更後)
高度急性期		高度急性期		高度急性期		高度急性期
急性期	13	急性期	13	急性期		急性期
回復期		回復期		回復期	26	回復期
慢性期	31	慢性期	31	慢性期		慢性期
休棟		休棟		休棟		休棟
介護保険施設等		介護保険施設等		介護保険施設等	18	介護保険施設等

（単位：床）

- ④ 平成29年度病床機能報告で報告した病床数，医療機能等から変更がない場合は，その理由